

# 食材の放射能検査情報 H27-第7号

## 5月度・放射能検査の結果(ご報告)

放射能検査は、総合科学新潟研究所が取りまとめている国内の放射能測定結果(社内 LAN で毎週情報を共有化)を踏まえて品目・産地の選定を実施し、大庄基準で定めた独自のスクリーニング検査の基準による、放射能汚染の可能性のある地域および品目の放射能測定を94点実施致しました。

### 5月のスクリーニング検査結果(詳細は別紙)

検査品目数	合	否
94点	94点	0点

〔説明〕

#### 1 5月のスクリーニング検査結果

- ① 5月の検査対象点数94点について、全て安全であることを確認いたしました。
- ② 検査対象の内訳は、青果物59点、水産物6点、畜産物29点です。
- ③ 青果物の新潟県産ウド及び木の芽については、スクリーニング検査で安全性を確認した上で、検査の妥当性を確認するため、ダブルチェックを実施（「食材の放射能検査情報 H27-第6号」にて掲載済み）し、安全性を確認いたしました。

#### 2 今後の対応について

- ① 今後とも、新潟研究所が汚染動向を毎日把握し、注意が必要な産地・品目を明確にして社内において情報を共有し、食材使用に活かすとともに、必要な検査を実施してまいります。
- ② なお、東北の食材については、復興支援のために安全性を確認したものは出来るだけ使用していきたいと考えています。
- ③ 流通している食品について汚染の可能性は、かなり低くなってきましたが、特定の品目では国内基準を超えるものもあるため、お客様の信頼が得られるまで、調査を継続していきたいと考えています。

<参考>

- 1 食材の使用対象（地域・品目）については、自社の総合科学新潟研究所が全国の自治体による放射能検査結果の結果を毎日把握し、出荷制限の追加・解除、50Bq以上検出された地域・品目のデータと地図を物流センターおよび各店舗に毎週提供して食材仕入れの参考にしています。
- 2 一連の取組みの徹底により、汚染された食材の使用を回避できていると考えております。

**測定データ****食材の放射能測定結果****1 スクリーニング検査**

測定：株式会社大庄 商品本部

// 食品衛生研究所

年・月	青果物			水産物			畜産物			合計			
	点数	合	否	点数	合	否	点数	合	否	点数	合	否	
<b>H 23</b>	1,650	1,650	0	125	125	0	96	96	0	1,871	1,871	0	
<b>H 24</b>	2,467	2,467	0	562	562	0	161	161	0	3,190	3,190	0	
<b>H 25</b>	1,778	1,778	0	685	685	0	283	283	0	2,744	2,744	0	
<b>H 26</b>	1,048	1,048	0	469	469	0	363	363	0	1,880	1,880	0	
<b>H27</b>	1月	66	66	0	33	33	0	25	25	0	124	124	0
	2月	67	67	0	30	30	0	36	36	0	133	133	0
	3月	75	75	0	24	24	0	25	25	0	124	124	0
	4月	74	74	0	6	6	0	22	22	0	102	102	0
	5月	59	59	0	6	6	0	29	29	0	94	94	0